

2025 年 12 月 8 日

東神開発株式会社

～地域の子どもたちと協力して“二子玉川の未来”を考える～

「株式会社こども会議（仮）」と共創、玉川高島屋 S.C.に “環境”を楽しく考える「ペットボトルキャップベンチ」を設置

子どもたちの想いが形に！約2万個のペットボトルキャップを用いた“花びらベンチ”

株式会社高島屋（本社：大阪市中心区、代表取締役社長：村田善郎）の連結子会社である東神開発株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：倉本真祐、以下「当社」）は、地域のお客様に共感いただけるショッピングセンター（以下「SC」）づくりを目的に、「株式会社こども会議（仮）」（以下「こども会議」）と“未来のSC”や“未来のまち”の在り方を考える取り組みを行なっています。

この度、当社は「こども会議（二子玉川事業所）」と共創して、玉川高島屋 S.C.の本館屋上に“環境について楽しく学べるアート”をテーマに、約2万個のペットボトルキャップを使用した「花びらベンチ」を設置しました。



■取り組みの背景

当社と「こども会議」との取り組みは2021年から開始しました。「環境を良くするためにSCが役に立っていることはあるか？」というテーマに対し、子どもたちが活発に議論を行い、2023年にアイデアの一つである「アップサイクルした楽器を奏でる音楽会」を実現しました。

そして今回、「玉川高島屋 S.C.館内に設置する、環境について楽しく学べるアートを考えてほしい」

という新たな“おしごと”を依頼。2025 年 3 月に当社社長を含めた社員で子どもたちからプレゼンを受けました。プレゼンでは「ベンチをペットボトルキャップで作りたい」「子どもが遊んでいる時間、大人がゆっくりできる場所が必要だと思った」など、子どもならではの優しさから生まれたアイデアが提案され、ペットボトルキャップで作る「花びらベンチ」が採用となりました。



【子どもたちによるプレゼン】



【プレゼン時に提案されたデザイン画】

■製作にあたって

ベンチの製作にあたっては、ペットボトルキャップを再利用した「キャップボード」を提供する株式会社スーパーメイトを中心に、日本空港ビルグループが運営する共創空間「terminal.0 HANEDA」のチームが担当いたしました。(株式会社スーパーメイト×PROTOTYPE Inc.×グラソツテクノワークス株式会社)

「キャップボード」に使用したペットボトルキャップの一部は、玉川高島屋 S.C.のバックヤードにある回収 BOX に、子どもたちが回収案内の POP を設置して集めました。



【子どもたち手書きの回収 POP】



【キャップの仕分けを行う様子】

■お披露目の様子

こうして製作された「花びらベンチ」は、11 月 30 日（日）玉川高島屋 S.C.本館屋上に設置されました。お披露目会では、参加した子どもたちが除幕式を実施。自分たちのアイデアが形になり、実際に使用される様子を見守りました。

最初にアイデアを提案してくれた「こども会議」の社員の一人、まおと君からは、「明るく、人が集まる場所にしたいという思いから担当の社員でアイデアを出し合い、カラフルなお花のデザインに決めました。実際にベンチになると聞き、自分たちのデザインを取り入れてもらえたときはすごくうれしかったです。椅子だけでなくテーブルもあるので、買い物でつかれた時や、いつでも気軽に立ち寄れるような、たくさんの人のお気に入りの場所になればいいと思います。」というコメントが寄せられました。



【除幕式を行う子どもたち】



【実際にベンチを利用する様子】

■当社のサステナブルビジョン

当社は「SC という“場所性”を活かし、地域社会における生活インフラとして社会と共有できる価値を生み出し、お客様からの“共感”を獲得する」ことで SDGs 達成に寄与するべく、様々な取り組みを実施しています。「こども会議」との取り組みでは、地域の子どもたちが主体となり SC で実現できる SDGs の取り組みを一緒に実現することで、SC を地域の SDGs の拠点として捉えてもらうと同時に、当社施設が、将来にわたって子どもたちの“Mind Symbol”としてかけがえのない存在になることを願って活動しています。子どもたちとの取り組みは、今後も継続していく予定です。未来のために当社が今何をなすべきか、子どもたちの協力を借りながら検討していきます。

・東神開発が掲げるサステナブルビジョン

<https://www.toshin-dev.co.jp/env/sustainable-vision.html>

■株式会社こども会議（仮）とは

こども会議は、子どもたちの「できる！」を信じて、異業種のオトナたちが 2020 年に立ち上げたプロジェクトです。子どもたちを主語として彼らが活躍する場をつくり、その力を社会全体に波及させていくことをビジョンとしています。

当社はこの「こども会議」のビジョンに共感し、2021 年から協賛を行うと同時に、“おしごと”を依頼しています。2022 年に設立された、世田谷区玉川の「二子玉川事業所」では、「みんなでニコタマの未来をつくる」をミッションに活動を行っています。

・株式会社こども会議（仮）二子玉川事業所 HP

<https://nikotama.kodomo-kaigi.com/>



今回の「花びらベンチ」制作のストーリーは、東神開発 WEB サイトでも紹介しています。

▶こども会議と東神開発 - 【前編】「ペットボトルキャップベンチ」が咲かせる子どもたちの未来-

<https://www.toshin-dev.co.jp/sustainability/sdgs/1208t/>（12/8（月）公開）

＜本件に関する報道関係者のお問合せ先＞

東神開発株式会社 PR 事務局（プラップジャパン内）担当：戸枝

TEL : 03-4570-3157 MAIL : toshin_pr@prap.co.jp